

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-29	中学校	社会	社会（歴史的分野）	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
81 山川	歴史 708	中学歴史 日本と世界		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第2条第1号「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。」に留意した点

- ・中学校における歴史教育の重要性を考慮し、特に歴史を学ぶことを通し社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書をめざしました。
- ・本テーマ全体の叙述をわかりやすくし、本テーマでは扱いきれないものを「歴史へのアプローチ」で示すことで「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。
- ・各ページに置いた多くの発問や章末の「まとめ」のページで「真理を求める態度を養う」ことができます。
- ・各時代の人々の生活、社会との関わりなどを示すことを通し、「豊かな情操と道徳心を培う」ことができます。
- ・「身近な地域を調べよう」にはフィールドワークなどを盛り込み、「健やかな身体を養う」配慮をしています。

教育基本法第2条第2号「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。」に留意した点

- ・「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページをはじめ、課題や発問を置くことで、生徒一人一人が課題を追究できるように工夫しました。そうした学習から「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことができます。
- ・労働に関する記述、技術革新や産業に関する記述などから、「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」への配慮をしています。

教育基本法第2条第3号「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点

- ・日本や世界が抱える現代の諸課題について、歴史的に深く考察できるような教科書をめざしました。

- ・人権・差別・平等などに関する記述や、歴史を多面的・多角的に捉えた記述などを通し、「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。

**教育基本法第2条第4号「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」に留意した点**

- ・本文叙述や図版の中で、生命の尊さ、環境問題、災害にも視座を向ける工夫をしています。

**教育基本法第2条第5号「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点**

- ・日本の文化についての記述を通し「伝統と文化を尊重」しています。
- ・ユネスコの世界遺産と日本の国宝の写真にはマークを付し、見てわかる配慮をしています。
- ・見返しには日本の世界遺産を示しています。
- ・グローバル化の進む現代において、日本と世界の関係についても考えることのできる教科書をめざしました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 歴史との対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代の表し方、身近な地域の調査方法を提示することで「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。(第1号)</li> <li>・「身近な地域を調べよう」にはフィールドワークなどを盛り込み、「健やかな身体を養う」配慮をしています。(第1号)</li> <li>・「身近な地域を調べよう」には聞き取り調査などを盛り込み、「生活との関連を重視」しています。(第2号)</li> <li>・「年代の表し方」では干支なども紹介し、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。(第5号)</li> </ul>	第1章全体  p.9、11  p.10  p.5
第2章 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の出現、世界各地の文明、古代日本の歴史の叙述を通し、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。(第1号)</li> <li>・「地域からのアプローチ① 奈良」「歴史を考えよう① 平安京と京都の町を考える」「地域からのアプローチ② 福岡」「第2章まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通し「個人の価値を尊重」する力を身に付けることができます。(第1号・第2号)</li> <li>・「縄文時代の人々の暮らし」「弥生時代の人々の暮らし」の叙述では「豊かな情操と道徳心を培う」配慮をしています。(第1号)</li> <li>・「律令国家の仕組みと人々の暮らし」の叙述や発問を通し、「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う」ことに配慮しています。(第2号)</li> <li>・ハンムラビ法典やペリクレスの演説の史料では、当時の正義・責任</li> </ul>	第2章全体  p.46～47、56～61  p.29、30  p.40～41  p.18、20

	<p>の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の宗教の歴史を紹介することで、「他国を尊重」する態度を養うことに配慮しています。(第5号)</li> <li>・「飛鳥文化」「歴史書の編さん」「コラム 日本の神話」「聖武天皇と天平文化」「正倉院宝物」「コラム 神仏習合」「国風文化と平安文学」の叙述や写真を通し、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.24～25</p> <p>p.37、42～43、44～45、51、54～55</p>
<p>第3章 中世の日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代後期から室町時代までの日本と世界の歴史の叙述を通し、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。(第1号)</li> <li>・「地域からのアプローチ③ 平泉」「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」「歴史を考えよう③ 関所を考える」「第3章まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通し「個人の価値を尊重」する力を身に付けることができます。(第1号・第2号)</li> <li>・「武士の日常、民衆の生活」の叙述では「豊かな情操と道徳心を培う」配慮をしています。(第1号)</li> <li>・御成敗式目や分国法の史料では、当時の正義・責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>・「都市(町)の成長」「農村(惣村)の自治」「自力救済・徳政・一揆」などの叙述では「主体的に社会の形成に参画」した事例を紹介しています。(第3号)</li> <li>・「民衆の生活」「農業の発達」の叙述や信玄堤の図版説明では「自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。(第4号)</li> <li>・「武士の生活」「鎌倉時代の文化」「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」「室町時代の文化」の叙述や写真を通し、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。(第5号)</li> <li>・「歴史へのアプローチ③ 琉球の歴史と文化」「歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化」では「郷土を愛する」態度を養うことができます。(第5号)</li> </ul>	<p>第3章全体</p> <p>p.68～69、76～77、95、100～101</p> <p>p.72～73</p> <p>p.71、97</p> <p>p.93～94</p> <p>p.73、92、97</p> <p>p.72、74～77、98～99</p> <p>p.88～91</p>
<p>第4章 近世の日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世の日本やアジア諸国、ヨーロッパ諸国の歴史の叙述を通し、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。(第1号)</li> <li>・「歴史を考えよう④ 江戸図屏風を読み解く」「地域からのアプローチ④ 金沢」「第4章まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通し「個人の価値を尊重」する力を身に付けることができます。(第1号・第2号)</li> <li>・武家諸法度の史料では、当時の正義・責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>・「江戸時代の社会の仕組み」の叙述では当時の「自他の敬愛と協力を重んずる」態度を紹介しています。(第3号)</li> </ul>	<p>第4章全体</p> <p>p.134～135、150～153</p> <p>p.121、132</p> <p>p.122～123</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史のアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所」では「自然を大切に」する態度を養うことに配慮しています。(第4号)</li> <li>・「桃山文化」「諸産業の発達」「特産物の誕生」「コラム 漆器の広がり」「儒学と諸学問」「元禄文化」「新しい学問と化政文化」「地域からのアプローチ④ 金沢」の叙述や写真を通し、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.142～143</p> <p>p.118～119、128～129、133、144～145、150～151</p>
<p>第5章 近代の日本と国際関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17世紀～19世紀にかけての世界の動きと、開国・明治維新から日清・日露戦争への日本の動きを中心とした近代の歴史の叙述を通し、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。(第1号)</li> <li>・「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」「地域からのアプローチ⑤ 札幌」「第5章まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通し「個人の価値を尊重」する力を身に付けることができます。(第1号・第2号)</li> <li>・「産業革命と社会の変化」「富国強兵と殖産興業」「日本の産業革命と経済の発展」の叙述や発問を通し「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う」ことに配慮しています。(第2号)</li> <li>・「市民革命の時代」の叙述や発問では「主体的に社会の形成に参画」した事例を紹介しています。(第3号)</li> <li>・「身分制度の廃止と四民平等」「労働者と社会問題」の叙述では、当時の正義と責任について考えさせる配慮をしています。(第3号)</li> <li>・「歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生」では「男女の平等」を重んじる態度を養う配慮をしています。(第3号)</li> <li>・コラム「五日市憲法」では「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。(第3号)</li> <li>・ロンドン・テムズ川の汚染の図版や「人物コラム 田中正造」を通し、「自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う」ことに配慮しています。(第4号)</li> <li>・「歴史のアプローチ⑥ 国家とは何か」では「我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。(第5号)</li> <li>・「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」「文明開化と欧米文化の導入」「明治の文化と教育」の叙述や写真を通し、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。(第5号)</li> </ul>	<p>第5章全体</p> <p>p.178～179、205、210～211</p> <p>p.160～161、176～177、202～204</p> <p>p.156～159</p> <p>p.173、206～207</p> <p>p.185</p> <p>p.186</p> <p>p.161、207</p> <p>p.175</p> <p>p.178～181、208～209</p>
<p>第6章 二つの世界大戦と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦、第二次世界大戦の時期の日本と世界の歴史の叙述を通し、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。(第1号)</li> <li>・「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」「地域からのアプローチ⑥ 広島」「第6章まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通し「個人の価値を尊重」する力を身に付けることができます。(</li> </ul>	<p>第6章全体</p> <p>p.228～229、250～253</p>

	<p>第1号・第2号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性参政権の実現の図版や「人物コラム ガートルード＝ネベル」では「男女の平等」を重んずる態度を養う配慮をしています。(第3号)</li> <li>・「大正デモクラシーの風潮」「社会運動の高まりと普通選挙法の制定」「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」の叙述では「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています(第3号)</li> <li>・「ゲルニカ」の図版や発問は「生命を尊ぶ態度を養うことに配慮しています(第4号)</li> <li>・「ヴェルサイユ条約と国際関係」の叙述は、「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.219、221</p> <p>p.223、226～229</p> <p>p.242</p> <p>p.218～219</p>
<p>第7章 現代の日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の日本と世界の歴史についての叙述を通し、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。(第1号)</li> <li>・「歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法」「地域からのアプローチ⑦ 沖縄」「第7章まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通し「個人の価値を尊重」する力を身に付けることができます。(第1号・第2号)</li> <li>・「高度経済成長」の叙述や発問を通し「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う」ことに配慮しています。(第2号)</li> <li>・「歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法」「独立回復と日米安保条約」の叙述は「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています(第3号)</li> <li>・「過疎化と公害問題」「現在の日本の課題」の叙述は「自然を大切にし、環境の保全に寄与する」態度を養うことに配慮をしています。(第4号)</li> <li>・「歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷」の叙述は「我が国と郷土を愛する」態度を養うことに配慮しています。(第5号)</li> <li>・「今日の世界」「現在の日本の課題」の叙述と発問は「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」ことに配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>第7章全体</p> <p>p.260～261、276～277、282～283</p> <p>p.270</p> <p>p.260～261、264～265</p> <p>p.270～271、281</p> <p>p.266～267</p> <p>p.278～279、281</p>

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

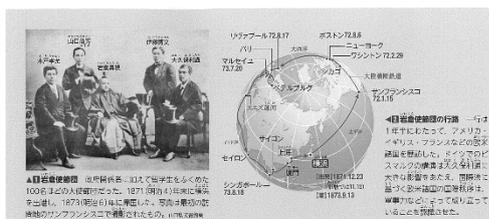
受理番号	学校	教科	種目	学年
31-29	中学校	社会	社会（歴史的分野）	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
81 山川	歴史 708	中学社会 日本と世界		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

日本と世界がどのような歩みを経て現在に至ったかを、わかりやすく理解できる教科書

### 特徴① 1テーマ、見開き2ページ構成で歴史の流れが無理なく学べる教科書

- ・基本的に1テーマを見開き2ページとし、授業時数135単位時間で無理なく学べるテーマ構成です。
- ・本文は歴史の本質をおさえ、各時代の歴史をバランス良く、わかりやすく説明しています。
- ・各テーマ冒頭に、そのテーマを理解するための発問Aを付し、本文を読む視点を示しています。
- ・図版は大きく、見やすく、発問Bを付し、どこに注目すべきかの示唆を与える工夫をしています。
- ・本テーマでは扱いにくいテーマは「歴史へのアプローチ」Iで深く掘り下げて解説しています。



#### 4 明治初期の 対外関係

A →

① 岩倉使節団の海外派遣は、政府の外交方針にどのような影響をあたえたのだろうか。  
② 政府は通商手続とどのような外交関係を築いたのだろうか。



B →

③ 岩倉使節団の目的を説明し、見聞を広げ、理解を深めよう。

④ 明治初期の対外関係 主権とは「国家の権利」という意味の言葉で、それぞれの国家をそれぞれの領土において他の国家の干渉を受けず、自由平等に存在する権利のことである。国家の権利は主権であるため、国境が固定して強固な国境線を持つこと、領土を固定して他国に侵襲されないこと、領土を固定して他国に侵襲されないことである。

C →

⑤ 明治初期の対外関係 主権とは「国家の権利」という意味の言葉で、それぞれの国家をそれぞれの領土において他の国家の干渉を受けず、自由平等に存在する権利のことである。国家の権利は主権であるため、国境が固定して強固な国境線を持つこと、領土を固定して他国に侵襲されないこと、領土を固定して他国に侵襲されないことである。



I

## 特徴② 豊富な発問で「歴史的な見方・考え方」を身に付けることができる教科書

### ・社会的事象を、時期・推移・因果関係・差違などに着目しつつ捉えることができる工夫

テーマで描いている事象が、どのような時代を背景としたものか、歴史の変化の過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたかを学べるよう、本文の叙述や発問を工夫しました。

発問例 p.74 鎌倉時代にどのような仏教の新しい教えが生まれ、どのように広まっていったのだろうか。

p.92 上から支配されるのではなく、商人や農民が自分たちで都市や村を運営できたのはなぜだろうか。

ものごとの差違や共通点に気づかせて歴史的見方を捉えさせるような発問を用意しました。

発問例 p.18 古代文明の栄えた場所の特徴は何だろうか？

p.52 奈良時代と平安時代とでは、地方を支配する方法はどのように変化したのだろうか。

### ・美術作品・遺物・史跡などから、歴史を考えさせる工夫

美術作品・遺物・史跡の図版には、そこから何が読み取れるか、発問を付けました。

発問例 p.53 (阿波国の戸籍の写真) なぜ戸籍に女性や66歳以上の人が多いのだろうか？

p.91 (イオマンテの様子の写真) 図の中では、どのようなことが行われ、どのような道具が使われているだろうか？

「歴史を考えよう②マンガの源流、絵巻物を考える」「歴史を考えよう④江戸図屏風を読み解く」

「歴史へのアプローチ⑤都市の暮らしと名所」「歴史を考えよう⑤世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」などでは、取り上げた美術品や史跡などから、課題を話し合い、考察しながら歴史を学ぶことができるような工夫をしています。

### ・現代に生きる私たちとその時代のつながりを考えさせる工夫

身の回りの生活や身近な地域と、歴史との関連を気づかせる発問をはしばしに用意しています。

発問例 p.19 古代文明が生み出した制度や習慣で、私たちの生活につながっているものを身の回りのものから考えてみよう。

p.21 古代ギリシアの民主政治は、現代の民主政治とどこが異なるだろうか。

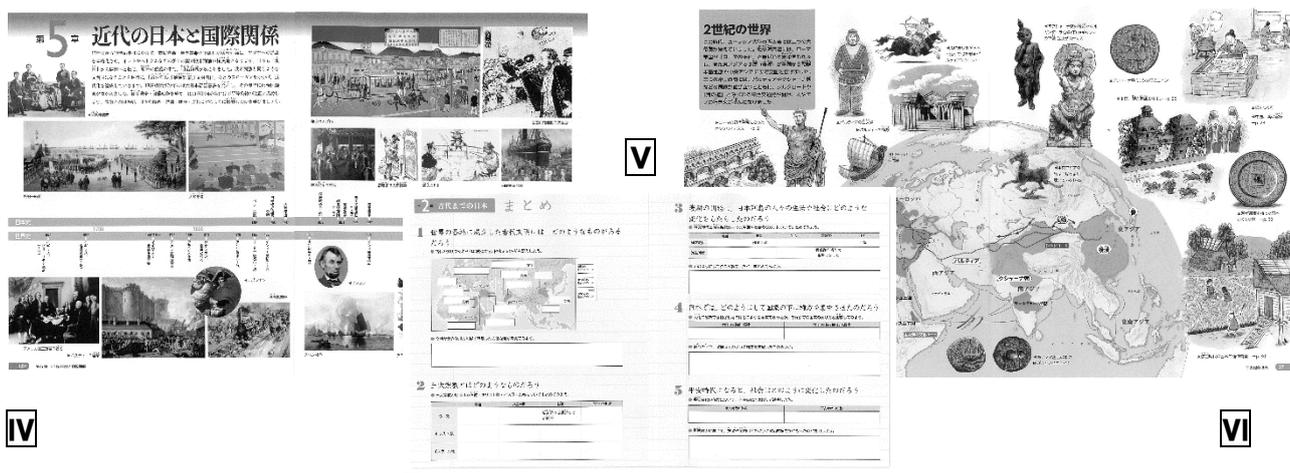
p.161 産業革命によって人々の日常生活はどのように変わったのだろうか。今の私たちの生活に影響しているものを挙げてみよう。

「身近な地域を調べよう」では地域学習の方法を具体的に東京都荒川区の例で示すとともに、レポートの書き方や発表の仕方について、細かい留意点まで説明しています。また、その具体的な例として「地域からのアプローチ」で奈良・福岡・平泉・金沢・札幌・広島・沖縄を取り上げ、地域を通しての歴史学習を紹介しました。



### 特徴③ 世界史も含めた歴史全体の流れをつかむことができる教科書

- ・各章の扉[V]には、日本史と世界史の年代を上下に分けて示す帯年表を付し、視覚的に流れをつかませる工夫をしています。
- ・各章末の「まとめ」[V]には、章全体の時期・推移・因果関係・差違などに着目させる発問を用意し、各時代の流れ・特徴を振りかえることができるような工夫をしています。
- ・2・8・13・16・18世紀の世界[VI]を、地図とイラストで紹介する頁を設け、各時代の世界の状況を通観し視覚的に理解できるような工夫をしています。



### 特徴④ 深く、かつわかりやすく歴史の知識を身に付けることのできる教科書

#### ・歴史を学ぶ上で史・資料を読み取ることの重要性を気づかせる工夫

史・資料を多く入れることで、歴史を学ぶ上で史・資料を読み取ることの重要性を中学生のうちから学んでもらえるよう工夫しました。史料や図版・地図・グラフなどには、ポイントをおさえるための解説や発問を多く付し、見るべき視点を具体的に示しています。

#### ・イメージを膨らませるためのイラスト・復元模型などの図版

例) p.16 ネアンデルタール人の埋葬・打製石器 p.28 縄文人の暮らし p.30 稲作の様子 p.31 脱鞍の様子  
p.35 須恵器と窯 p.44 遣唐使船・貴族の衣服 p.72 武士の館

#### ・社会や経済の仕組みを図式化して視覚的につかませる工夫

例) p.46 朱雀大路を滑走路にしたイメージ図 p.64 荘園・公領の模式図・武士の家の構造 p.70 御恩と奉公  
p.71 承久の乱

#### ・生徒の理解を深める「用語解説」

生徒にとって意味のわかりにくい用語には「用語解説」[C]を付しました。

### その他の工夫

- ・各テーマの基本色を日本史・世界史で分け、今学んでいることが日本のことか世界のことかがすぐわかるような工夫をしています。
- ・小学校での歴史の学習を踏まえ、中学校での学習ではそれをベースに、さらに幅広く、深く歴史の知識を身につけられるよう工夫をしています。
- ・図版はできる限り大きく掲載しました。地図・グラフはカラーユニバーサルデザインにも配慮し、読み取りやすい表現方法での作図を心がけました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
<b>第1章 歴史との対話</b>			<b>7</b>
1節 私たちと歴史			
1 年代の表し方	A(1) 私たちと歴史 ア	p.5	0.5
2 時代区分の表し方	A(1) 私たちと歴史 ア	p.6	0.5
3 歴史を大きく変えた人物	A(1) 私たちと歴史 イ	p.7	1
2節 身近な地域を調べよう	A(2) 身近な地域の歴史 ア・イ	p.8～13	5
<b>第2章 古代までの日本</b>			<b>21</b>
章扉	B(1) 古代までの日本 イ	p.14～15	0.5
1節 世界の諸文明	B(1) 古代までの日本 ア・イ	p.16～27	4.5
2節 日本文化のあけぼの	B(1) 古代までの日本 ア・イ	p.28～35	4
3節 律令国家の形成	B(1) 古代までの日本 ア・イ	p.36～49	5
地域からのアプローチ① 奈良	A(2) 身近な地域の歴史 イ	p.46～47	1
4節 貴族政治と国風文化	B(1) 古代までの日本 ア・イ	p.50～59	3
歴史を考えよう①	B(1) 古代までの日本 イ	p.56～57	1
平安京と京都の町を考える			
地域からのアプローチ② 福岡	A(2) 身近な地域の歴史 イ	p.58～59	1
第2章 まとめ	B(1) 古代までの日本 イ	p.60～61	1
<b>第3章 中世の日本</b>			<b>19</b>
章扉	B(2) 中世の日本 イ	p.62～63	0.5
1節 中世社会の成立	B(2) 中世の日本 ア・イ	p.64～81	5.5
地域からのアプローチ③ 平泉	A(2) 身近な地域の歴史 イ	p.68～69	1
歴史を考えよう②	B(2) 中世の日本 イ	p.76～77	1
マンガの源流、絵巻物を考える			
2節 武家社会の成長	B(2) 中世の日本 ア・イ	p.82～99	9
歴史を考えよう③ 関所を考える	B(2) 中世の日本 イ	p.95	1
第3章 まとめ	B(2) 中世の日本 イ	p.100～101	1
<b>第4章 近世の日本</b>			<b>23</b>
章扉	B(3) 近世の日本 イ	p.102～103	0.5
1節 一体化へ向かう世界	B(3) 近世の日本 ア・イ	p.104～111	2.5
2節 近世社会の成立	B(3) 近世の日本 ア・イ	p.112～119	4
3節 幕藩体制の確立	B(3) 近世の日本 ア・イ	p.120～127	4
4節 幕藩体制の展開	B(3) 近世の日本 ア・イ	p.128～135	3
歴史を考えよう④	B(3) 近世の日本 イ	p.134～135	1
江戸図屏風を読み解く			

5節 幕藩体制の動揺	B (3) 近世の日本 ア・イ	p.136～151	6
地域からのアプローチ④ 金沢	A (2) 身近な地域の歴史 イ	p.150～151	1
第4章 まとめ	B (3) 近世の日本 イ	p.152～153	1
<b>第5章 近代の日本と国際関係</b>			<b>28</b>
章扉	C (1) 近代の日本と世界 イ	p.154～155	0.5
1節 欧米諸国の近代化と日本への接近	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.156～165	4.5
2節 開国と幕末の動乱	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.166～171	3
3節 立憲国家への道	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.172～189	8
歴史を考えよう⑤	C (1) 近代の日本と世界 イ	p.178～179	1
世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える			
4節 日清・日露戦争とアジア	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.190～201	6
5節 近代日本の産業と文化	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.202～209	3
地域からのアプローチ⑤ 札幌	A (2) 身近な地域の歴史 イ	p.205	1
第5章 まとめ	C (1) 近代の日本と世界 イ	p.210～211	1
<b>第6章 二つの世界大戦と日本</b>			<b>20</b>
章扉	C (1) 近代の日本と世界 イ	p.212～213	0.5
1節 第一次世界大戦と日本	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.214～231	7.5
歴史を考えよう⑥	C (1) 近代の日本と世界 イ	p.228～229	1
第1回普通選挙の実態を探る			
2節 国際協調の崩壊	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.232～241	5
3節 第二次世界大戦と日本	C (1) 近代の日本と世界 ア・イ	p.242～251	4
地域からのアプローチ⑥ 広島	A (2) 身近な地域の歴史 イ	p.250～251	1
第6章 まとめ		p.252～253	1
<b>第7章 現代の日本と世界</b>			<b>14</b>
章扉	C (2) 現代の日本と世界 イ	p.254～255	0.5
1節 戦後の日本と国際社会	C (2) 現代の日本と世界 ア・イ	p.256～273	7.5
歴史を考えよう⑦	C (2) 現代の日本と世界 イ	p.260～261	1
大日本帝国憲法と日本国憲法			
2節 新たな時代の日本と世界	C (2) 現代の日本と世界 ア・イ	p.274～281	3
地域からのアプローチ⑦ 沖縄	A (2) 身近な地域の歴史 イ	p.276～277	1
第7章 まとめ	C (2) 現代の日本と世界 イ	p.282～283	1
予備			3
合計			<b>135</b>